

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

社会貢献活動は地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

りゅうぎんユイマール助成会では、平成25年度から助成先選定方法を推薦方式から一般公募方式へ変更しており、今年度は8団体へ助成金を贈呈しました。

その他、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」や「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」の事務局としてその運営に携わっています。

また、当行では「安心とやさしさ」「心のバリアフリー」の取り組みとして、「認知症サポート研修」をこれまでに約150名の職員が受講しました。また、那覇消防局のご協力をいただき、当行フロアアシスタント46名にAEDと救急法についての「普通救命講習」を行うなど、ホスピタリティ向上を目指して積極的に取り組んでいます。

CSR(企業の社会的責任)活動

毎年、夏休み期間中に小学生を対象とした「りゅうぎんキッズスクール」を開催しており、12回目となる今回は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を楽しく学習する「経済教室」や、科学や環境への興味を引き出す「サイエンス教室」を開催しました。

また、従来は那覇地区のみでの開催でしたが、今回は要望の多かった名護地区でも開催し、多くの参加者より好評を頂きました。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成、ならびに紅型デザインの新しい領域の追及を目的として、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

第23回となる今回は、天願千恵さんが作品「風を受けて」で2年連続の大賞を受賞しました。

入賞作品については、琉球銀行のカレンダーや通帳、広報物等として広く活用されます。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年(平成5年)6月に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から250万円の募金が集まった場合、銀行も250万円を拠出し、合計500万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、今回の助成を含めた設立からの助成実績は380件、1億5,599万円となりました。(平成26年9月30日現在)



宇流麻福祉基金



りゅうぎんキッズスクールの様子(サイエンス教室)



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式